

やさしい 日本語講座 入門編

11.16(土)

15:00

16:50

参加無料

第十四回在宅看護学会学術集会
市民公開講座

「やさしい日本語」には「優しい」と「易しい」という意味が込められています。
ちょっとしたコツを理解し「いつもの日本語」を「やさしい日本語」に言い換えることで、
外国の方や、障害を持つ方、高齢者などへ向けた言葉の垣根はぐんと低くなります。
さあ、ワークショップを通じみんなで練習して話しかけてみましょう「やさしい日本語」で！

定員 212名

場所 クロス・ウェーブ船橋
A会場(講堂)

参加費用 無料

参加方法 いずれも事前申し込みは不要です。
直接会場にお越しください。

※先着順での入場となり、多数の場合入場をお断りする場合があります。

講師 老邑敬子

一般社団法人 チームやさしい日本語 理事

【略歴】

関西テレビ放送を定年退職後、日本語教師の資格を取得
社団法人チームやさしい日本語 理事
やさしい日本語指導者・日本語教師・大学非常勤講師



チーム

やさしい
日本語

チームやさしい日本語 HP



看護のやさしい日本語 ～命を守る言葉として～

今、私たちの周りには、留学生、技能実習生、ビジネスマン、近隣で暮らす人、旅行者など、外国の人が増えています。日ごろから日本語以外の言葉を耳にする機会も増えました。そして、その多くが英語ではないことに気づいておられるでしょう。実は日本に住む外国人には英語ではなく、少し工夫した日本語の方が伝わりやすいことがわかっています。これが「やさしい日本語」です。

過去、大きな災害が発生したとき、多くの外国人が正確な情報を得られず、適切に避難ができなかったり、支援を受けられなかったりして、二次被災者になってしまいました。「やさしい日本語」はこの経験から生まれた「外国人にわかりやすい日本語の表現方法」です。法務省と文化庁は「生活者としての外国人」との共生社会を目指し、2020年に「やさしい日本語ガイドライン」を策定し、「やさしい日本語」の活用を促しています。

また、外国人のみならず、高齢者、障がい者などへのバリアフリーの言葉として使用され、効果をあげています。さらに今後、看護や介護を必要とする外国人や、看護や介護の仕事に従事する外国人の増加が見込まれており、「やさしい日本語」でのコミュニケーションの必要性が高まっています。講演では表現や言い換えのコツを学び、命を守る言葉として、明日から「やさしい日本語」を使っていただくことを目指します。